

「顔のみえるまちづくり」を目指して

本郷第三地区民生委員児童委員協議会（横浜市栄区）

地域住民という立場から、福祉に関する相談に対応し、行政や関係機関・団体へのつなぎ役を務める民生委員児童委員（以下「民生委員」）。横浜市では約4千600名が活動しており、市内260地区に民生委員児童委員協議会（以下「民児協」）が組織されています。

横浜市では、地域福祉を計画的に推進するために、市・区・地区のそれぞれの圏域で「地域福祉保健計画」を策定・推進しています。平成28年4月からは、区・地区の「第3期地域福祉保健計画」の推進が始まります。



「支えあいネットワーク」幹事会の様子。地区社協、自治会・町内会、民生委員児童委員など様々な関係団体が参画している



広報紙「本三みらい」と内容を新たにした「ふれあいマップ」

本郷第三地区民児協が担当する栄区本郷第三地区では、「支えあいネットワーク」に自治会・町内会、民生委員、保健活動推進員など地域の関係団体が参画し、地域福祉保健計画を推進しています。「支えあいネットワーク」には、ボランティア、訪問活動、広報、災害時、子育て関連の5つの分科会があり、各分科会に関係団体のメンバーが参加しています。民生委員も多く参加し、日頃から顔の見える関係性を築いています。

活動の一例として、広報分科会では地域活動への参加を促すことを目的に、広報紙や自治会等の活

動内容をまとめた「ふれあいマップ」の作成、子育て関連分科会では地域の行事などを掲載した「子どもカレンダー」の配布、多世代交流イベントの開催などの取り組みを実施しています。

「支えあいネットワーク」への参画を通し、民生委員と関係機関・団体が互いの役割を正しく理解し、日頃からざっくばらんに話し合える関係ができています。民生委員が見守り活動などによりキャッチしたニーズを地域住民に伝え、地域活動につながるパイプ役として、「顔のみえるまちづくり」を他機関・団体とともに進めています。

（本郷第三地区民生委員児童委員協議会）

◆5月12日は「民生委員・児童委員」の日
民生委員制度の始まりは、第一次世界大戦末期、大正6（1917）年5月12日に防貧対策として岡山済世顧問設置規程が交付されたことに由来するものです。来年の平成29年は、民生委員制度創設100周年という節目の年を迎えます。

全国民生委員児童委員連合会では、岡山済世顧問設置規程が交付された5月12日を「民生委員・児童委員の日」と定め、5月12日から18日までの1週間を地域のみなさんにその活動を知っていただくための強化週間として取り組みを進めています。

求人ページ、充実させませんか？

求職者の応募促進のため、自社ホームページを充実させることが求職者からの問い合わせ増加につながります。リクルートOBのスタッフが制作した事例をご用意しております。お気軽にご相談ください。

神奈川県社会福祉協議会様
(http://www.knsyk.jp/) **ホームページを弊社で制作いたしました！**

[弊社の制作実績]



お気軽にお問い合わせください！

TEL 045-650-1355

MAIL info@directorsclub.co.jp

担当 東海林

>>ホームページからもお問い合わせいただけます。

http://www.directorsclub.co.jp/form.html

株式会社ディレクターズクラブ
横浜市中区山下町1番地 シルクセンター9階

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています